

# 板額御前奮戦八〇〇年イベント記念誌



中条町・板額御前奮戦八〇〇年  
記念イベント実行委員会

# ハローワークの時を超えて板額御前が今生る

我が町のシンボル、

実行委員会会長 熊倉信夫

板額御前

2001年・それは、中条が生んだ勇婦「板額御前」が鳥坂城で鎌倉幕府軍と戦った建仁元年から数えて八百年の節目の年。町ではそれを記念し、2000年の8月に各種団体の代表者による「板額御前奮戦800年記念イベント実行委員会」を組織し、5部会(①行列

②演劇③シンポジウム④モニュメント⑤募金)を設け、町民主導によるイベントの準備を進めて参りました。

そして、2001年10月13・14日、友好町村である山梨県境川村長を始め、秋田比内町並びに会津坂下からの来賓を迎え、盛大に記念イベントを実施いたしました。

産業文化会館をメイン会場に行われたイベントの数々を記念誌として編集しました。ご賛同いただいた町民はじめ多くの関係各位の皆さまにひと読頂ければ幸いです。

## 実行委員会組織図

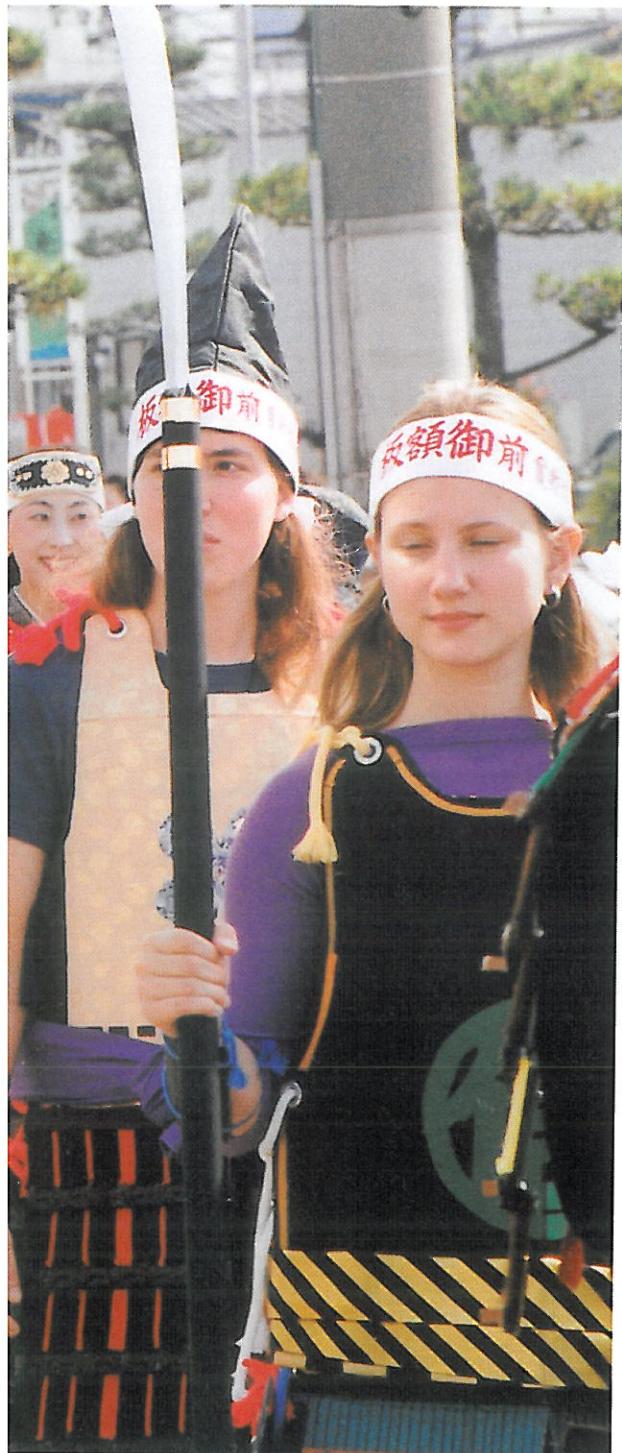
会長	熊倉信夫
委員長	横内鐵友
副委員長	久世 寿・五十嵐 力
5部会	部会長 副部会長
①行列	五十嵐 力/羽田 辰子
②演劇	鈴木 映一/小野 貴史
③シンポジウム	高橋 雅男/渡辺 宏行
④モニュメント	杉田 隆/諸橋喜一郎
⑤募金	大沼 鐵男/小泉 清海 佐藤 廣夫

現在の日本を支配してゐる主要都市は、明治維新を迎えるまで殆ど城下町である。新潟市などは五港の一つであり、これまた特異な存在のようで、それの先代の文化遺産の上に、今日の繁栄があると思つて間違いない。

然し、我が中条町にはそれを遡る中世において誇るべき歴史的遺産があつたのだが、極一部の限られた人々によってのみ継承されて来た。

吾妻鏡によれば鳥坂山における板額御前奮戦は、「1201年」の春だったと記されている。

当時の日本の支配は、東方は源氏、西方は平氏が圧倒的だつた。そんなとき越後平氏としてこの地に存在した城氏は興味のあるところだつた。八百年経た今日でも、白鳥山にはその存在を物語る史跡が幾つかあり、山を登つて行く人にそれぞれ語り掛けている。然も当時のものと思われる要塞、のろし台と称するもの櫛形山の到るところに原型をとじめていることは本当に珍しい。しかも、どの地に立つても見晴らしが良く、海府から弥彦山まで見えるところが大部分であり、当時の戦略的拠点としてよくぞ物色したものと感心させられる。白鳥山の頂上に立つて、西に向かい胎内の流れを見





ながら城氏滅亡後の中条氏と黒川氏の領地の譲状の図面（国の重要文化財）等を頭に浮かべながら見ると、更に愛着と経過の神秘すら感ずるのである。

今回の板額御前奮戦八百年記念行事がそれぞれの年代によって受け取り方は異なることは思うが、境川村から村長さん始め大勢の人々に来ていただき、飯角の記念碑の除幕から市中行進と、果ては式典へと長時間にわたり出席いただいたことは、中条町民も歴史の重みと広さにいたく感動した次第であり、それ以上に板額御前もまた喜んでいたことと思う。囚われの身であり打ち首・獄門が当然の社会にあってかくもおだやかな後半生を送り得たことは、正に歴史的にみて奇跡的なほど恵まれた人かも知れない。今後この歴史的事実に従い、或いは検証しながらこの櫛形の山を大勢の人々に愛して貢うことこそ板額御前の望むところではないだろうか。

市中行進にあわせ鎧や兜の諸道具を材料を持ち寄りながら、数ヶ月にわたりボランティアで作りあげてくれたことを後で聞き、その人々に対し申し訳なく思うと同時に頭の下がる思いで一杯であった。

美人の板額御前をイメージする銅像は全くすばらしい。数あるイベントの中に募金という難しいことを大勢の人々の協力を得て本当に素晴らしいのが出来てうれしく思った。これが我が町のシンボルとなることを祈りつつ御礼の言葉とした

## 成功は町民のみんなの力

実行委員長 横内 鐵友

平成十一年六月始め、当時の

中倉教育長から、「平成十三年  
は板額御前が鳥坂山で戦つてか  
らちょうど八〇〇年になるので、  
それを記念して何か事業をやり  
たいので、相談に乗つてほしい」

との話があり、板額御前について  
研究されている方や関心を持つ  
つておられる方、十一人で「板  
額御前八〇〇年記念事業懇話会」  
を立ち上げ、初めて会議を開いた  
のが十一年七月二十八日。

以後四回にわたって行われた  
会議では、銅像の建立、演劇、  
武者行列など幾つかの案が出さ  
れましたが、これを行うに当た  
つて一番の主眼は町主導でな  
く、民間の力で成功させようと  
いうことでした。これら懇話会  
の集約を十月二十一日に教育長  
に提案しました。

ところがその後、さっぱり動  
きがないのでどうしたのか尋ね  
たところ、町長が「鳥坂城にか  
かわる遊歩道など、ハードの面  
で整備するのでイベントは行わ  
ない」との回答でした。  
私たち懇話会のメンバーは、  
何回も会議を開き建議したのに  
どうということだ、との思いで一

杯でしたが、町長の考え方であ  
れば仕方がないとあきらめていま  
した。

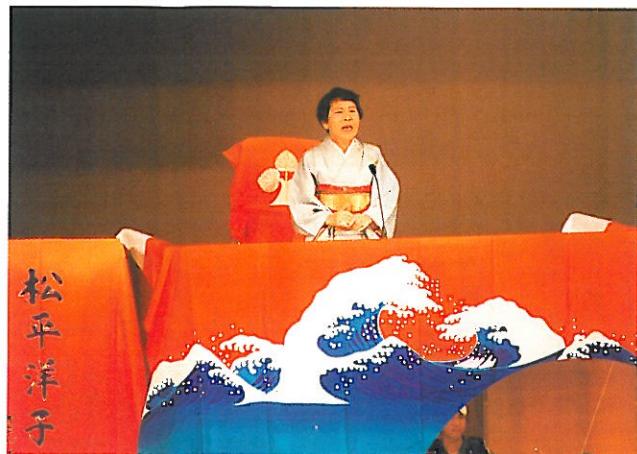
ところが、十一年の六月にな  
つて突如、町長から「八〇〇年  
記念はどうした、自分は取りや  
めにするなど一言も言っていな  
い」との話があり、町では急遽  
取り組むこととなりました。

当初、町職員の中堅幹部を主  
体に実行委員会を立ち上げると  
の話を聞いて、私は町長に「懇  
話会で建議したように、民間主  
導で行うべきでは」と申し上げ  
ました。結果、町長はこれに理  
解を示し、イベント実施一年前  
の九月十四日、実行委員会が立  
ち上がりました。

以後一年間にわたる実行委員  
の活動ぶりはご承知のとおりで  
すが、大勢の町民の皆さんのご  
協力とボランティア、さらには  
募金により

大成功を納  
めたことは、  
まさに町民  
皆さんの力  
だと、改め  
て感謝申し  
上げること  
あります。





戦国の時代という宿命の中で、後半生を異郷の地でしつかりと生きぬいた人生は、現代に生きる私たちに教えられるものがあります。

縁あって甲斐の国にはるばる赴いた板額御前に思いをはせるとき、そこには越後の国奥山莊を思い起こす数々の風景があります。

行列など、ぬくもりと歴史ロマンを感じさせる意義深い事業であり、改めて敬服いたしました。

戦国の波乱に満ちた時代に生まれ育ち、果敢に生きた板額御前の半生とその人間像に触れたシンポジウムをはじめ、町民の皆さんのがづくり鎧による武者

0年記念イベントに参加させていただきました。

このイベントへの取り組みが、中条町の皆さんとの総参加のもと、すべてが手づくりにより行われたことに感動とともに、板額御前に寄せる思いが存分に反映されたイベントであつたことに、心から敬意を表します。

## 板額御前奮戦800年 記念イベントに寄せて

境川村長 角田 義一

海の音こそ聞こえませんが、西の櫛形山や東の鳥坂峠がそれであり、ふるさとに置き換えて眺めたことでしょ。

そして、板額坂をはじめ帶石、藤塗の滝瀬立不動尊などの史跡は板額御前が当地で、たくましく、またあるときは優雅に生きぬいたさまを確實に残しております。

平成8年10月板額御前の縁に

より、中条町と境川村は友好町村盟約調印を行うことができました。

800年といつ時間を超越し、両町村の友好交流が再び続けられることに大きな意義を感じます。

境川村も平成15年に建村100年を迎えます。大きな節目を迎えるにあたり、記念事業を計画しておりますが、この事業の中には板額御前絵物語の作成も含まれていて、後世への伝承に役立てていく考えであります。

板額御前奮戦800年記念イベントの大成功と記念誌の発刊をお喜び申し上げますとともに、ご招待くださった中条町の皆さんに厚くお礼を申し上げます。

# 基調講演 「板額御前と鎌倉時代」

歴史作家 杉本苑子氏



美人の代名詞といいますと、小野小町が楊貴妃。勇婦、勇敢な女性と言えば巴御前か板額御前としました。巴御前とともに、勇婦として日本の歴史の中でも称えられた板額御前のイベントが、ここ誕生の地で盛大に催されることを、私ども門外漢もうれしく思っています。

板額御前について簡単に申しますと、この方は城氏といふ由緒ある氏族の娘で、本名は分からませんが、板額という名は吉田東伍博士も書いています。出羽地の中条町飯角が、米の「飯」に「角」でイイズミと呼ばれていた、これを音読して「ハンガク」となつたのでしょう。

この城氏は平家の一族で、初め出羽・秋田の城を守っていましたが、信濃で木曾義仲が平家

追討の挙兵したとき、平清盛の命令で城長基が義仲鎮圧に出ました。その後、鎌倉幕府の源氏の支配下に入りましたが、頼朝の亡き後を継いだ頼家の弱さを察知、平家再興を図るために、城資盛が当地の鳥坂城で兵を擧げたのです。

鎌倉幕府は佐々木盛綱にこの討伐を命じましたが、険しい山城で激しい抵抗に遭い、困難を極めながら、その中で少年のような姿で、ひときわ目立つ弓の名手が、資盛の若い叔母、板額御前でありました。あの少年をなんとかしなければと、信濃の武者は背後に回り、やぐらから矢を射たところ、彼女のものを貴き捕らえました。この勇戦を見つめた頼家将軍は、その女を一見したいとのことで鎌倉に連れて行かれました。御所で板額御前は、並み居る幕府の長老にも見受けました。その一座にいた、甲斐の国の住人で浅利義遠という武将が、この板額御前をせひ、私の宿の妻にと申します。丁度その一座に

受けました。強いて誕生を願った浅利氏であつたが、女の子が生まれ、同じ甲斐源氏に属する武田氏に嫁いだとあります。板額御前について、その後の記録はございませんが、これまでのこととは幕府の記録「吾妻鏡」にあり、学者の諸先生も信頼を寄せている資料に書いてあります。冒頭に巴御前も勇婦であったと言いましたが、板額御前が弓矢の達人、巴御前は太刀、なぎなたで奮戦したと言います。

二人の第二の人生はともに似た道をたどりますが、彼女たち自身の望だつたのは分かりません。おそらく彼女たちには悲劇だったのではないかと思います。愛する人や、一族とともに滅び死んでゆきたかたのだと思います。しかし、勇婦には強い子が生まれるだろうと妻にさせられた。もちろん男性は大事にし、後には幸運になつたかも知れないが、戦いに敗れるることは悲劇であります。苦しみであります。

私どもの世代では、二十歳のときに終戦、ポツダム宣言受諾ということで未曾有の悲劇を体験しました。その後の人生が、それに幸か不幸か分かりません。鎌倉期の源平対立の激動時代に生きた、一人の人生が私たちにいろいろな示唆を投げかけています。これを機会に、板額御前に深い関わりのある皆さんに考えて頂きたいと思います。

次に、板額御前とほぼ同時代の女性、政治に関わった人などと言いましたが、板額御前がハイソサエティの女性たちについて話しましよう。

まず、静御前ですが勇婦ではなく近世の芸者さんのような人で、源義経の愛人でした。義経が兄の頼朝と不和となり、奥州藤原氏を頼つて脱出の意志を固めたときの、有名な吉野山での別れが能や芝居にチフオルメされ、おもしろくされています。さきの「吾妻鏡」に、この静御前の記述もありますから、作り話ばかりではありません。このとき静は、義経の子を宿して鎌倉に連れてこられた。静の舞い、名白拍子は都に評判となりこれを耳にした頼朝は妻の政子と、鶴岡八幡宮社頭で鑑賞しました。白拍子というのは、鳥



の下へ無事着いたかを願いながら歌つたのだ」と、なだめて言ふ。

そのうち月満ちて、静は男の子を産んだが手箸どおり、生まれ直後に鎌倉の由比ヶ浜に殺され埋められた。女の子であれば構はない、あとがめなしだつたのにと磯禅師は嘆き、娘の静御前が産後の肥立ちから元の体に戻ると二人は京都に帰つたと言います。静御前のその後については、再び白拍子になつたが、尼になつて子供の菩提、やがて奥州で亡くなつた義経の苦提を弔つて過ごしたのか分かつていません。また、静といいますと、同じよつな白拍子の仏御前、祇王、祇女の話があります。

エピソードを入れ、ロマンよろしく仕立てあげた筆者のフィクションではなかつたかと思ひます。平家にあらざんば、人にはあらずと言つて太政大臣平清盛に白拍子に祇王、祇女の姉妹がありました。ある日、二人がときめいてる六波羅の屋敷に、仮御前と名のる祇王、祇女よりずつと若い十五、六の白拍子が乗りましたが、源頼朝の奥さんです。

つぎに、板額御前とはまた違つた趣の、二人の女性について触れてみたいと思います。それは北条政子、建礼門院徳子であります。北条政子は先にも話しましたが、源頼朝の奥さんです。



北条時政の娘であり、日本史の中でも特色のある氏族を実家に持つ、男まさり、気性のはつきりしたひとで、頼朝に浮氣を許さなかつたと舌妻鏡に書いてあります。頼朝がある女性を好いたならば、兵を向けてその女性を追い出せたり、それを取り持つた武士のちよんまげを切り落としたという話も残っています。しかし、北条政子という人は、単なる恐妻だけではなく結局は、わが子を排除したことあります。政子が頼朝との間に生まれたが仏門に入ると言い、屋敷を出て嵯峨野に庵を結びこもつた。ある夜、仏御前は一人を訪ね、若く、花盛りの二人が去つて行き、今様を読み考へ一念発起しました。権力者の寵愛じか、華やかな暮らしとか、ぜいたく三昧は、はかないことを知りました。私も一緒に修行させてほしいと願い三人で過ごしたといふ。少し出来過ぎの話であるが、これも平家物語に彩りとして加えられている。

次に大納言、中納言、少納言のことですが南朝に属する後醍醐天皇は、北条氏は政権を壊壊（くわだん）している、これを倒して建武中興を成そうと汚い手段で北条氏を倒した。あの天皇は戦前の教育では正義であると我々は習つたが、まったくの誤りで、現代の明治、大正、昭和そして今上天皇と続く、北朝こそが正当なのであります。

私は余りテレビドラマは見ませんが、いま北条時宗をやつています。鎌倉時代は後の武士道といふほどのものではなく、働き

いたけれども頼家は欠点が多い、比企氏の存在は大きくなる。これがため政子にとつて頼朝亡きあと、頼りになるのは実家の北

条氏であるとしていた。事実、北条政権は私利私欲のないクリー

ーンな政権だつたが、ずっと後のことです。が南朝に属する後醍醐天皇は、北条氏は政権を壊壊（くわだん）している、これを倒して建武中興を成そうと汚い手段で北条氏を倒した。あの天皇は戦前の教育では正義であると我々は習つたが、まったくの誤りで、現代の明治、大正、昭和そして今上天皇と続く、北朝こそが正当なのであります。

私は余りテレビドラマは見ませんが、いま北条時宗をやつています。鎌倉時代は後の武士道といふほどのものではなく、働き

いた、新しい組織体制です。義経はこの頼朝の体制を理解できなかつたのは、長く京都に育ち

たがために公的な財産を与えたことと北条執権は弱体化するわけ

ですが、そこに後醍醐は天皇でありながら、つけ込んで北条氏の倒幕運動を起こすのでした。

北条政子は冷淡でわが子を生かさず、実家に政権をゆだねたと

言われますが、彼女は人を見る目と、夫の頼朝と打ち立てる幕府を存続させるための選択を行

い、中世の世を動かす原動力になつたのであります。その頼朝の体制というのは私の勝手な言

い方ですが、平安時代は座布団方式、つまり一人の権力者が太政大臣の座布団に座る。そして

時間がきましたのでこれで終わらせて頂きます。

（要約文責：高橋雅男）

# パネルディスカッション 「板額御前はどう生きたか、その人間像に迫る」

○コーディネーター

篠田 昭氏

新潟日報社説説委員

○パネリスト

角田 義一氏

山梨県境川村長

小林 昌二氏

新潟大学教授・文学博士

高橋 郁子氏

新潟県民俗学会常任理事

篠田

○板額御前役

長谷川凡子氏

高橋 沙織氏

角田

篠田 最初に板額御前奮戦八〇年記念イベントについて、開催の実行委員長で

もある熊倉さんからお願いします。

熊倉 昭和59年、鳥坂城を含む6カ所が奥山莊城館遺跡

として国指定史跡を受けました。これを契機に日本の名手板額への関心が高まつたことがあります。それはあくまで鳥坂城で

戦つて敗れ、捕らわれて鎌倉に行つたと云う点だけたのですが、10年位前、境川村の研究会の方たちが来られて線につながつたと、これはもうちょっとやると、面上に広がり関心をもたれると期待して行つたのが経緯です。

今中条町長さんが、板額は点であつたのが線になつたと、その線にしてくれた境川では、板額姫はどう捉えられているのかお願いします。

篠田

○板額御前役 続いて高橋さん、板額にはどんな関わりを持つているのかお願いします。

高橋 私肩書きをもう一つ持つてあり、高橋郁丸のペンネームで漫画も書いています。

私は子供のころから板額姫と云わせていただいている。もう知らない人はいません。後一年半で村が始まって百

年になりますが、板額塚、板額坂など歴史の中で人の名前が地名となつてゐるのは板額以外はありません。板額が身ごもつたのは直したと云う帶石、熊倉町長さんが来て、これ

小林 古代史で板額と云われた



は櫛形山の石に似ている、境川にはその質の石は一個しか無いわけで、不議だな、力があつた板額が抱えてきたのではない、などと云っていますが、境川での板額の知名度はすばりしく、慕わせて頂いています。

篠田 続いて高橋さん、板額にはどんな関わりを持つているのかお願いします。

高橋 私肩書きをもう一つ持つてあり、高橋郁丸のペンネームで漫画も書いています。私が板額に興味を持ったのは中学生が高校生の頃です。その頃は反抗期ですから、反対制の人ジャンヌ・ダルクとか中国の木蘭という女武者になんとなくあこがれ、そんな関係で板額に興味を持ちました。

小林 最後に古代史、中世史に詳しい小林さんに願います。

篠田

○パネリスト 篠田 最小林さんから弓矢の話がございました。時代劇をみると太刀で斬り合つて、日本刀がものすごい意味を持つています

とき困惑しましたが、私

卒論が平将門の乱で、いずれ角川から出る」とになっていますが、その後

ながりで城氏ということになり、城氏の姫君であること

が、壇ノ浦の戦い、この戦は壇ノ浦の戦い、この戦いのポイントは何ですか、射撃ですね、や

たのか、射撃ですか、やはり弓矢の射撃の正確さ、これが戦争の局面をはつきりと分けた。頼朝の奇策、義経の計略を強調しているが、私それは間違

参りました。今小林さんから弓矢の話をみると太刀で斬り合つて、日本刀がものすごい意味を持つています

いだと書いた経緯がありますが、私は

壇ノ浦で平氏が長く続に戦いに勝利を重ねなければ出路は開けないという

局面で、それを分けたのは弓矢であったこと、やはり板額御前をめぐっては弓矢をあいては無いことを申し上げたく勇んで

参りました。

今小林さんから弓矢の話をみると太刀で斬り合つて、日本刀がものすごい意味を持つています



新條

小林

射撃が正確に急所に当たつていることの正確さを筆者は書こうとしている気がします。百発百中でないと長い戦いは支えきれない、近代の戦争でも狙撃兵があり、その者の全体の戦闘の中での役割は仕切を左右する。戦闘の局面を導こうとする指揮官、それが板額で、両ももを射ぬかれて倒れたときに戦局が急に崩れて敗北につながつたと書かれていることも注意されることだと思います。

角田

が、実際は斬り合ひは少なく、武士といふべく怖くあまり敵に近づきたくなじと、当然遠くから弓矢で戦うのが理にかなつてゐるし安全だと、弓矢の役割はものすごく大きかった感じがしますが、小林さん、弓矢と板額、その魅力を今一度。

吾妻鏡に建仁元年の旧暦5月に鳥坂城の合戦が書かれているが、吾妻鏡は信用できると先ほど杉本先生も云っていますが、

が、実際は斬り合ひは少なく、武士といふべく怖くあまり敵に近づきたくなじと、当然遠くから弓矢で戦うのが理にかなつてゐるし安全だと、弓矢の役割はものすごく大きかった感じがしますが、小林さん、弓矢と板額、その魅力を今一度。

なつたと云ふの説でしょりか。

明日の松平家の浪曲「女人苦難」の中に非常に多く書かれていますが、NHKのラジオを聞いて、もう涙なくして聞けない内容です。与一が板額の魅力を認めて、それを鎌倉の人たちが「姿はきれいだが心は鬼だぞ」と、また頼家が「たで食う虫も好きすぎだ」という感じで馬鹿にして笑う中、与一はある意味でそうしなければ助けることが出来ないと、女性をにやにやして連れて行つた悲しいものではないと思つてゐます。

篠田

角田さん、境川では板額があ嫁に来て幸せだったと考えられていますか。頼家の前で与一が板額を貰いたいと云つたのは、どちらも強かつたので結ばれたのではないかと、板額の美貌に惚れたかもしないが、与一もなかなかの好男子であつたと思つていまさし、山梨に名が残るだけ幸せであつ

篠田

地域で敬愛されなければ名前は残らないと、板額は相当敬愛されたと感じました。熊倉さん、角田



篠田

今日のイベントで板額は美人であったことの意思統一を。反対の方はイベントに参加して頂かなくて結構です。(笑い) 小林さん、板額は智勇兼備で自分は弓矢で戦つて、甥の資盛を落ち延びさせている。単なる勇婦でなかつた感じがしますが、このあたりどう考へればよいか。

小林

最後のところはよくわからませんが、板額という名は、「飯角」や杉本先生が云われた神社に奉納する板の額、そんな関連で考えてみたらとあります。板額は美人



篠田

で私もまじまじと見てみました。その中で特徴があったのは、顔が広いという特色、板額はひたいが半分でなく広いということも重ねあわせて見ると、身分が高くて美人だと、弓を通じてのいい男といい女、ちょっとした高額の花だつたと根拠を出させて頂きました。だいぶ板額御前像も浮かび上がつてきましたが、もう少し掘り下げてみたい。板額のことは判らないだけ、鳥坂城で戦つた時は幾つだったか。嫁

になつたんだからきっと  
幾つだろうとか、そういう  
うことしか判らない。謎  
だらけで想像力をかき立  
てるところがたまらない

お出でになりて、いそが  
もう一度境川の紹介も今  
めで、板額の判らない  
じがあつたらお願ひ申  
す。

いか、高橋さん、小林さん、そのあたり何が。

りたいといひので、隼人と  
か蝦夷と云われる人たち  
は縄文系のDNAで、蝦夷  
の血を引く人はやりぱ  
り射撃が上手いと、日本

して、変化を認識し、今に適応していく生き方、これは現代女性にも適応する考え方だと思います。

田  
判ひなごとくいじとせば  
かのカではあつまセビガ  
板額が四に強じとての

でなく、健康体で氣丈な  
すばらしい体をもつていて  
いた。やはりそれは血筋と  
いうか、恐らく中条の皆  
さんも板額の血を引いて  
健康体でないかなと思い  
ます。先日両田村の議員  
交流の時、あの議員さん  
と相撲を取りましたら、

を運んで聞いてきたいと思ひます。阿部定任といふ人が新潟にも足跡を残してゐます。黒鳥兵衛といふ蝦夷の血を引く人が、下越を中心には暴れまくつたとの伝説が残つていてますが、その中に不思議に避けたように城氏のことが出てこないんです。今後の課題として勉強したいと思つていまち。

に住む人がオリンピックでメダルを取ろうと思ひて、蝦夷様に感謝しながら思つています。確かに狩猟民族であつた

板額に矢白尾道へを立てる  
篠田 立てくれる戦乱の時代  
が、板額は美人だつたから  
にさいたバラだと思いま  
す。(拍手)

下越を中心に戯れまくつたとの伝説が残っていますが、その中に不思議に避けたように城氏のことが出でこないんです。今後の課題として勉強したいと思っています。

そこのところ私も一番知

から、弓矢はうまかつたかもしませんね。お待たせしました。お二人に伺いますが、若い女性から見て板額御前てどんな魅力があるのか、魅力を感じたから御前役を買つて出たと思いますが、そ

高橋（沙） ひとつも美人だつた  
　　し思います。（拍手）

篠田 長谷川さん同じ質問です。  
　　それはもちろん美人で  
　　す。美人説をどうぞ通して  
　　ください。（拍手）

二人はその板額御前に



小林 そこのところ私も一番知

て出たと思いますが、そ  
のあたり長谷川さんから、  
女性の地位が低かつた

篠田 あ一人はこの板額御前によ似ているという由負はある訳ですね。ありますよ

氏に嫁いだことは源氏・  
平家という際だった社会  
にありながら融合しあつ  
たという、突出した事件

鉄筋コンクリートのビル  
のような腹でした。おかげ  
で山梨も板額の血  
を引いていますから健康

小林  
そこのところ私も一番知

でなかつたかと感じます。とにかく正式に籍が入ったかどうかが判らないので、八〇〇〇年目に改めて結婚の認証を行うことを計画しました。

体であつたと、今日は11人連れて来ました。いずれにしても板額の我慢強さを一つの魅力として、村作りに努めたいと思つてます。

篠田

そういう意味で明日のセレモニーでは同棲ではなく、晴れて婚姻を認めることにした訳ですね。境川村長さん、随分大勢で

田 血筋の話が出ましたが、  
城氏は非常に秋田との関  
係が深いと、蝦夷の血み  
たいなのが板額の生き様  
を反映しているのではないか

條田

そして女性らしい優しさに大変魅力を感じました。

い。  
う

大変に整理されたお答えです。同じ質問ですが高

面の都合  
ます。」

(文責・横内鐵友)

高橋(沙) ちよつと圧倒されま

# 板額御前奮戦八〇〇年記念イベントに寄せて

## 「各部会関係者からの感想集」

### 板額御前からの贈り物

板額御前役  
長谷川 凡子

その生涯を学び弓の稽古に励み、板額御前役を務める為に、板額御前役を務める為に、その生涯を学び弓の稽古に励み、板額御前の虜になりました。イベントが近付くにつれ緊張感も高まり待ち遠しさは倍増しました。そして当日、各会場とも大変な盛り上がりを見せ、自分がその中心的位置にいることに驚きを感じました。板額御前が弓を射るというイベント最後の場面で緊迫した空氣の中、矢が的の中央を射た瞬間、安堵と感動がこみ上げました。イベント開催に向け努力された多くの方々と、当日集まつて下さった大勢の方々のそれぞれの想いが、たまた一本の矢に伝わり、矢を的の中心に導いてくれたものと思っています。

このような機会を与えて頂けた事に感謝すると共に、これから思います。

の貴重な体験は、板額御前が八百年の時を越え、私にくれた贈り物と受け止め、心の財産として大切にしていきたいと思います。

### いざ出陣

板額御前役  
高橋沙織

十月十三日、十四日。中条町盛大のアーバーサリー。歴史絵巻のパレード。著名人とパネルディスカッション。ひとつ語りだしたらきりがないほどの思い出深い行事でした。

### 板額御前之像の制作に当たつて

京都教育大学名譽教授  
日輝会美術協会会長  
山崎正義

かつて沢山の銅像を造つてきましたが、板額御前人形の写真を拝見して、大変なことを引き受けたと後悔しました。

しかし、一度やると定めたからには、出鱈目やごまかしのものでない正直に創る決心をしました。早速餅は餅屋の例えの如く東映映画撮影所の知人に助つ人を頼み、甲冑扮装関係の衣装、モデル娘、かつ

板額御前の役柄になれ、多くの方々と知り合え、郷土の歴史を知り得た事は、私のかけがえのない財産になります。あなたをかく見守り、支援してくれた皆様に感謝します。

これからも、町の為、自分の為に板額をがんばっていきたいと思います。

板額御前の役柄になれ、数日後にはスタジオで写真撮りをして、ようやく制作の手懸かりを掴むことが出来ました。あなたをかく見守り、支援してくれた皆様に感謝します。

これからも、町の為、自分の為に板額をがんばっていきたいと思います。

### 板額御前

八〇〇年祭に寄せて  
ピクター専属浪曲師  
松平洋子

鎧の四方面、赤糸おどしゃりが良かったかどうか解りませんが、もう暫くの余裕があつたらと悔やむ気持ちも事実でした。

市川……と駅員がマイクを通してけたたましい音が流れり、空気を割つて電車が入つてきました。ドアが開くと待つていた大勢の乗客がわれ先に乗車する、アツと云う間に空席は埋まる、私達3人の前に背の高い170~80位の男が立つた手に弓袋、右手に矢筒を胸で抱えている、弓を扱う人と



前 新しい銅像 “万歳”。

## 鳥坂山あれこれ



秋田県比内町  
(元比内町町史編纂委員会)

菊池 隆一郎

古い文献に「鶏冠山・鶏冠城」などと書かれている鳥坂

山は、日本海側から見ると鶏のトサカの形状をしているところから命名されたものと考えています。JR(羽越線)で

中条を通るたびごとに、この山で奮戦した美人武者「板額

(飯角)御前」のことが懐かしく思われてなりません。板額

御前奮戦八〇〇年記念イベントに五十嵐力さんからお説

をいただき、心に残る二日間を楽しく過ごさせて頂き、お

まけに板額御前役の長谷川凡

子さん・高橋沙織さんから「わざわざ秋田からお出で頂き有

り難うございました」とのお言葉まで頂戴し感激した次第

です。

今や二十一世紀を迎え、更に年輪を重ねることに、ますます板額御前の活躍ぶりは語り伝えられて行くことでしょう。私も微力ながらその宣揚

に役を担いたいと決意してあります。貴町のより一層の発展をお祈りいたします。

激で胸が熱くなるのを覚えました。坂下町には、板額御前の兄である城四郎長茂が遺した遺構が、沢山残されています。今年発掘される陣ヶ峯城跡や、

我が町も、これから、中条町を見習い沢山の遺跡を大切に保存し、立派に整備し、親睦と交流を深めて、これからどうか宜しくお願ひします。

## 他人とは思えない中条町

川西歴史研究会事務局長  
会津坂下町

大竹 四郎

私達、会津坂下町川西歴史研究会十七名が板額御前奮戦

八〇〇年記念イベントに参加するため中条町を訪れたのは

昨年十月十三日と十四日の二日間でした。

私と会長と二、三人の会員以外は、皆初めての訪問でした。

色々なイベントに、参加さ

せて頂きましたが、国重文の乙宝寺参詣と、宝物館の見学は、大変印象に残りました。

又、町をあげてのイベントで

ある武者行列や、各除幕式、

パネルディスカッション、杉本苑子先生の歴史講演会等に

参加させて戴いた事は、終生忘れる事が出来ません。

又、皆さん達で作られたビデオ作品を拝見させて戴いた

時は、本当に自分達が中世に戻った様な気分で拝見し、感

## 板額御前が微笑んだ

シンポジウム部会長  
高橋 雅男

「我が中条町のシンボル、板額御前を知つてもらおう」

これが部会の課題でした。そ

して、その時代背景を分かりやすく述べてくれる有名人を

呼ぼうということになりました。そこで決まったのが、歴

史時代作家の杉本苑子氏であ

ります。お招きの交渉役になつた私は何とか承諾をもらつたものの、当日お顔を見るまでは大変なプレッシャーに悩

みました。しかし、当日先生が中条駅に笑顔でホームに降り立つた姿を拝見し、これで

半分は終わつたし思いました。

つぎに、板額御前の人間像について語つてもらう諸先生

は、御前の専門家であり、親しみのある、身近な方が良い

う日本一の『取り』板額御

に年輪を重ねることに、ますます板額御前の活躍ぶりは語り伝えられて行くことでしょう。私も微力ながらその宣揚

に役を担いたいと決意してあります。貴町のより一層の発展をお祈りいたします。



別に報告の通りの方々になつたのであります。

「基調講演」の杉本先生からは四百年も続いた平安時代の栄華と、鎌倉時代の厳しい人間模様。そして、「パネルディスカッション」ではパネリストのそれぞれの立場から、個性的でユーモラスな表現で板額御前を語つて頂きました。



みなが私たちは心の中に生きている。この板額御前をい

うで剛健な板額御前は微笑みで、それを語つて頂きました。

つまり大切にしてゆこう。これがシンポジウムの結論でした。最後に部会並びに事務局の皆さんの大変なご労苦に深く感謝申し上げます。

## 地元学としての 板額御前

新潟日報社説員

篠田 昭

日本の地域(くらし)は長く「地

元にはなくてよそにあるもの」を引き張りてきたり、ついつたりすることでした。地域にはない施設や機能を持つてすることは、「国土の均衡ある発展」には有益でしたが、日本全国の街がどこも同じ表情になつてしましました。

そんな時期に「ないものね

だりをやめて、あるもの探し

をやろう」という「地元学」

が九州の水俣などから始まりました。

中条町が板額御前に光を当てたことは「地域の宝物を探す」意味で地元学と同じ系譜にあります。「歴史人物に思いを馳せることから地域の未来を考えていこうことにつなげる」発想は素晴らしいもので

元にはなくてよそにあるもの」を引き張りてきたり、ついつたりすることでした。地域にはない施設や機能を持つてすることは、「国土の均衡ある発展」には有益でしたが、日本全国の街がどこも同じ表情になつてしましました。

そんな時期に「ないものね

だりをやめて、あるもの探し

をやろう」という「地元学」

が九州の水俣などから始まりました。

中条町が板額御前に光を当てたことは「地域の宝物を探す」意味で地元学と同じ系譜にあります。「歴史人物に思いを馳せることから地域の未来を考えていこうことにつなげる」発想は素晴らしいもので

す。さうじに境川村との交流という「宝物」も生まれました。

多くの町民が楽しみながら中条地域を掘り下げる」と、日々の暮らしに張りが出、誇らしさが広がっていくことで

しょう。

## 山と板額御前

山とコメント部会長

杉田 隆

山登りが好きで南アルプスへ通っている。板額御前800年祭に關係してから、見方が違ってきた。山麓集落の言葉のアクセントが、中条と良く似ているのに気づいた。山の上から見渡すと、板額は別天地の世界の環境での生活だったと推察される。しかしそれは、平家から源氏への移行に役立ったのでは・・・・広い平野そして海、片や見えるのは山、山、山、板額は越後中条を偲ぶ気持ちが、幾つかでも紛れたのでは・・・・、光を「テカリ」と発音する。

中条では今でも古老たちが朝の太陽を見て「テカリタ」と言う、南アルプスの一角に百名山の「光岳」をテカリ岳と

名山の「光岳」をテカリ岳と

呼んでいる。800年前に、板額御前と共に甲斐の国へ附いて行ったのではないかと憶測して、歴史に素人の私は一人で悦んでいる。

## 勇婦の歴史を 後世に伝えよう

募金部会長

大沼 鐵男

巴御前、静御前とともに「日本三御前」と謳われた板額御前の銅像が、ふるさとの地、中条に設置されることになり、

この度「板額御前奮闘八〇〇年記念イベン」トが実施され、役場玄関前で、数多くの市民

の見守る中、姉妹都市の山梨

県境川村の代表の方々をお迎



募金には、正副実行委員長並びに町内全域の区長さんのご協力を賜りましたこと、誠にありがとうございます。特に町内の企業を回って頂きました三地区の区長会の役員の方々の並々ならぬご盡力に対し、衷心より御礼申し上げます。

これからは、八〇〇年の歳

月を経て建立された、この銅像を町の活力の象徴として、親しみを込め、勇婦の歴史を永く後世に語り継いで行くのが、我々の努めと考えます。

## 大成功、三百人の武者行列

行列部会長・実行副委員長

五十嵐 力

平成十三年秋、中条町は遙か八〇〇年の時を超えて「板額御前の奮戦を記念する」歴史的な催して活気に満ち溢れていた。行列部会はその名の通り板額御前の武者行列を演出する担当で、それに使用する鎧(よろい)はじめ衣装や装備に至るまで、多くの町民がボランティアで春から連日の作業を続け、見事に作り上げ、イベント当日快晴の秋晴れの下に更に多勢の方々の協力を得て、当初の予想を遥かに超え、山梨の境川・会津坂下・秋田比内町など板額ゆかりの方々も含め総勢二三百余名の武者行列を披露することが出来ました。板額御前は「越後平氏城一族の持つ歴史の重みと誇り」を私たちに与えて



## ビデオ撮影をおえて

演劇部会長 鈴木 映一

「板額御前ってなんだ?」正直これが、演劇部会長になつたときの私の板額御前への知識でした。私は、(社)中条青年会議所の一員として、昨年「板額御前奮戦800年記念イベント」が行われる事にあたって、地域事業の担当ということで、実行委員会の一員になつっていました。当初は



部会の名前が指すように、演劇を行うつもりでしたが、見て耳で聞いてもらえるビデオを作った方が、より効果的であるということで、ビデオの製作が始まりました。せっかくビデオを作るのだから、残せるような立派なものを造りたいという事で、製作に関してはプロの方にお願いしました。最初のロケ地は岩手県江刺市にある藤原の里、当日は猛暑、厚化粧をして、着物を着た出演者の方々は額に汗を浮かべながらも、弱音も吐かずに一生懸命がんばっています。

江刺市にある藤原の里、当日は猛暑、厚化粧をして、着物を着た出演者の方々は額に汗を浮かべながらも、弱音も吐かずに一生懸命がんばっています。上映当日、気になつて客

いました。その後は、合戦の撮影に向けて、行列部会の方と一緒に協力し合つて、衣装作りを連日行いました。そして、いよいよクライマックスとなる鳥坂城合戦の撮影に入りました。坂城合戦の撮影に入りました。当日は100名近くの参加者が集みました。合戦ということで、鎧を着て、山を何度もかけ登り、激しく小競り合いをするなど、ハードなシーンが続きました。特に兵士役をお願いした中条中学校の野球部の皆さんには、元気に楽しく演じていただけたと思いま

す。上映当日、気になつて客席に行ってみました。ご苦労された裏方の方々、熱演した出演者の方々の苦労が報われたという思いでいっぱいになりました。

## 感動の場面は、生涯の思い出である

衣装作り指導者 中村 実

私は板額御前の出会いは、平成六年夏、星の宮町内の納涼祭に板額御前がタイムスリップをして、現代の星の宮にその勇姿を現すという寸劇の舞台であつた。当時星の宮町内会長で越後城氏の研究では第一人者である五十嵐力氏のシナリオとご指導で、寸劇の衣装と小道具作りに携わつたのが始まりである。

板額御前奮戦800年記念イベントは、大成功のうちに終わりました。これは中条町全体、行政を含め民間の各種団体やグループそれに個人の力を結集してなし得たものだと思います。

私がこのイベントで一番感動したのは、十月十四日の産業文化会館の最終場面、浅利与

一義成公と板額御前の婚姻認証式のあと、会場の全員が注視する中、弓の名手板額御前が見事、的の中心を射抜いた感動は、今も脳裏に残つてあります。今後は「越後の勇婦板額御前」を後世に讃え伝え戴きたいと思います。

## 完成した板額御前奮戦 800年記念ビデオ

中条中野球部  
齊 藤 純

ンサーが大勢いて、衣装もだいぶ一杯ありました。

撮影に入り、最初はだいぶ緊張ましたが、2回目、3回目になると、全然緊張せずスムーズにできました。

撮影した日は、とても暑くて、しかも鎧に似せた段ボールを着て撮影したので、段ボールに汗が滲んでいました。映画というものは、こんなにつらいことなかと初めてわかれました。撮影は何時間もかかり、終わったときには3時半4時ぐらいでした。野球部はけつこう体力があるけど、すごく驚きました。何故かといふと、カメラマンやアナウ

つたのは、やはり岩手ヘビーディオ映画のロケに行つたことです。岩手へ着いて撮影する時は、お化粧して衣装をました。そうすると、まるで自分じゃないようになります。撮影は子供時代の小太郎が板額御前に弓を教えてもらうというシーンでした。緊張したけどうまくとり終えました。馬に乗つたりもしました。

ロケは、ぼく一人だけでの参加でしたがとても面白かったです。

ぼくは自分で作った鎧を着て、板額御前八百年祭の武者行列に出ました。たくさんの人々が観ていて緊張しました。でも、久しぶりにロケでお世話をなつた皆さんに会えました。

た。

## 板額御前八百年祭の思い出

中条小学校四年  
武 田 邦 大

ぼくはこの行事に参加して、板額御前のことが少し分かつて来ました。そして、板額御前を通じて色々な人と知り合いました。とてもいい宝物ができました。



ぼくが参加して一番楽しか





# 一般会計決算書

## 歳 入

(単位:円)

目	予算額	決算額	増減	説明
補助金	11,480,000	11,480,000	0	中条町補助金 新発田地域広域組合補助金 11,380,000 100,000
雑入	0	389,721	389,721	預金利子 寄付金 576 389,145
合計	11,480,000	11,869,721	389,721	

## 歳 出

目	予算額	決算額	増減	説明
行列	1,000,000	999,007	△993	鎧手作り材料費 999,007
シンポジウム	1,800,000	1,331,115	△468,885	講演謝礼 講演依頼贈 講師交通費等 1,245,000 5,985 80,130
演劇	4,600,000	4,761,811	161,811	ビデオ作成委託料 浪曲出演料 交通費等 4,200,000 400,000 161,811
モニュメント	1,800,000	1,800,000	0	土地造成費 記念碑作成費 450,000 1,350,000
記念誌	1,000,000	1,063,420	63,420	記念誌作成費 講演録作成費等 1,000,000 63,420
共通経費	1,280,000	1,914,368	634,368	横断幕、懸垂幕、花火、ポスター、チラシ、 行列一般参加者材料費、イベントPR料、看板作成、 鉢巻、昼食代、交通費、運搬費、 寄付芳名・様式等印刷ほか 1,558,124
				板額人形作成費、口ケーション費 356,244
合計	11,480,000	11,869,721	389,721	

# 特別会計決算書

(板額御前銅像会計)

## 歳 入

(単位:円)

目	予算額	決算額	増減	説明
寄付金	9,000,000	9,636,600	636,600	中条町内一般寄付 中条町企業等特別寄付 中条町外特別寄付
雑入	0	1	1	預金利子
合計	9,000,000	9,636,601	636,601	

## 歳 出

目	予算額	決算額	増減	説明
記念像(板額像)	9,000,000	8,947,300	△52,700	板額御前像及び銘板作成費 記念像台座加工費 8,157,300 790,000
郵便局振込手数料	0	7,310	7,310	
板額御前実行委員会一般会計へ	0	389,145	389,145	
記念誌作成費	0	292,846	292,846	
合計	9,000,000	9,636,601	636,601	

## 板額御前銅像寄附ご芳名

■集落別

4,085,100円

(単位:円)

中 条 地 区					
行政 区	募 金 額	行政 区	募 金 額	行政 区	募 金 額
表 町	77,000	西本町 1	24,000	飯 角	68,000
水 沢 町	9,000	西本町 2	34,500	半 山	69,500
新 栄 町	86,500	西本町 3	54,500	上 城 塚	10,000
大 川 町 1	17,000	若 松 町 1	84,000	下 城 塚	4,000
大 川 町 2	10,000	若 松 町 2	47,500	城 塚	7,500
大 川 町 3	30,000	若 松 町 3	28,000	塙 津	22,000
大 川 町 4	44,500	二 葉 町 1	91,500	弥 彦 岡	24,000
本 町 1	12,500	二 葉 町 2	26,500	本 郷 町	136,000
本 町 2	10,500	住 吉 町	60,500	西 条 町 1	160,500
本 町 3	19,000	新 和 町	8,000	ク ラ レ	42,500
本 町 4	23,500	星 の 宮 町 1	90,000	赤 川	22,000
西 栄 町 1	48,000	星 の 宮 町 2	9,500	羽 黒	81,500
西 栄 町 2	14,500	柴 橋	97,000	野 中	23,000
西 栄 町 3	18,500	草 野	17,000	並 櫻	56,000
西 栄 町 4	12,500	新 舘	20,000	追 分	21,000
北 本 町 1	55,000	鷹 の 巣	11,000	仁 谷 野	4,000
北 本 町 2	29,500	西 川 内	9,000	西 条 町 2	44,000
東 本 町 1	20,500	東 川 内	8,500	つ つ じ が 丘	7,000
東 本 町 2	44,500	八 田	7,000	つ く し 町	3,000
東 本 町 3	21,000	寅 田	11,000	あ か ね 町	12,000
東 本 町 4	100,500	小 舟 戸	8,500		
東 本 町 5	26,500	船 戸	18,500		
東 本 町 6	52,100	長 橋	31,000		
東 本 町 7	13,000	関 沢	35,000		

乙 地 区			
行政 区	募 金 額	築 地 地 区	募 金 額
乙	141,000	北 成 田	27,000
桃 崎 浜	110,000	宮 川	24,000
荒 井 浜	115,500	竹 島	23,000
大 出	55,500	苔 実	61,500
富 岡	30,000	高 橋	45,000
江 尻	9,500	築 地	180,500
地 本	19,500	築 地 新	18,500
八 幡	40,500	下 高 田	40,500
高 野	32,000	山 王	24,000
土 作	15,000	高 畑	49,500
横 道	30,500	宮 瀬	11,500
平 木 田	25,500	鴻 の 巣	20,000
平 木 田 駅 前	95,500	笹 口 浜	78,000
十 二 天	17,000	中 村 浜	26,500
小 地 谷	4,500	村 松 浜	164,000
山 屋	10,000	日 鉛	8,000
菅 田	47,500		
日 立	34,000		
高 野 萍 島	5,500		

■事業所（中条地区）

事業所名	募金額	事業所名	募金額	事業所名	募金額
クラレ新潟化成㈱中条工場	15000	東海電機㈱新潟営業所	50,000	青木機工建設㈱	5,000
日本海アセチレン㈱中条工場	20,000	㈱イフサ	10,000	日本通運㈱中条営業所	5,000
㈱サンビレッジ新潟	10,000	(有)高山自動車工業	10,000	㈱常の家	5,000
(有)中澤瓦工業所	10,000	㈱栗山米菓中条工場	20,000	(有)やまごん	5,000
(有)伊藤瓦店	10,000	新潟ヰセキ販売㈱	5,000	㈱マルキン家具	5,000
㈱会津屋	10,000	中村林業	10,000	中条グランドホテル	20,000
諸橋瓦工業所	10,000	㈱皆建	5,000	マックスバリュー中条店	10,000
渡辺自動車整備㈱	10,000	㈱トネット中条営業所	5,000	㈱渡辺陸三商店	20,000
㈱佐藤機工	20,000	ポーラ新潟販売㈱中条営業所	5,000	㈱相馬燃料店	5,000
㈱ヴィック	10,000	(有)野沢ドライ商事	10,000	㈱胎内印刷所	5,000
第一生命保険(相)新潟支社	10,000	延本商事㈱本社	20,000	シンセイ電機㈱	10,000
千田整骨院	5,000	延本石油㈱	20,000	セブンイレブン中条町東本町店	5,000
ときや旅館	5,000	㈱北村新聞店	5,000	クリーンセンター㈱	20,000
㈱中条タクシー	10,000	(有)和栄	5,000	㈱内山利助商会	5,000
(有)遠山フォート	5,000	スカイエンジニアリング㈱	10,000	伊勢屋旅館	5,000
(有)中条ヤンマー	10,000	(有)飛鳥産業	10,000	㈱あくむら商店	5,000
(有)大阪屋中条店	5,000	ミズカ力運輸㈱	10,000	石山写真店	5,000
at!Inn中条(有)村上屋旅館	5,000	渡辺興産(有)	5,000	チューリップ工房	5,000
水戸部経理事務所	5,000	(有)メナード中条	5,000	㈱ヤンマー農機新潟中条営業所	5,000
㈱中条スマーティングスクール	5,000	㈱新潟医化学研究所	5,000	船屋運輸㈱	5,000
㈱北越ケーズ	10,000	中条交通㈱	10,000	(有)川内肉店	10,000
レストラン大東苑	5,000	(有)熊倉工業	10,000	ジャスコ㈱中条店(ウェルマート)	5,000
(有)中条ゼミナール	5,000	新交北貸切バス㈱	20,000	涌井商事	5,000
(有)サトー	5,000	(有)中条コンタクトレンズ	10,000	㈱日本鉄道旅行社中条営業所	5,000
(有)本間鮮魚店	5,000	日本生命保険(相)中条営業所	10,000	㈱宮作中条営業所	5,000
(有)魚苑	10,000	(有)丹吳工業所	5,000	㈱内山大鍛冶屋	5,000
㈱ウォロク中条店	20,000	(有)土屋工業所	5,000	㈱緒形商店	5,000
坂爪陶芸スタジオ	10,000	(有)小松化成	10,000	(有)近藤時計店	5,000
(有)小野石材	10,000	㈱セキノ興産中条工場	30,000	㈱丸松斎藤商店	5,000
ヤマト運輸㈱新潟中条営業所	2,000	中条中央病院	30,000	㈱中条主食販売所	3,000
㈱双羽	10,000	新潟ワボタ㈱	10,000	元肴屋旅館	5,000
㈱焼肉近藤	10,000	ホームドライ	3,000	㈱興発石油	5,000
㈱磯部電機	5,000	㈱須貝印刷	10,000	弥彦屋	3,000
㈱五十嵐車体	5,000	関西保温工業㈱中条出張所	10,000	(有)三嶋屋	5,000
(有)佳屋	5,000	東海メンテナンス㈱	10,000	南波印房	5,000
パチンコダイエー中条店	10,000	㈱カエツ工業	20,000	(有)アムス	10,000
㈱エスケーテック	5,000	(有)須貝造園	5,000	㈱大地	5,000
㈱大久保商店	10,000	中条ソーリング㈱	3,000	才生会佐藤社会保険労務士	5,000
㈱中条自動車	5,000	(有)いづみや中条店	5,000	新雪乳業㈱中条営業所	5,000
佐久間自動車工業㈱	5,000	㈱エーエムシー	5,000	㈱さくら設計	5,000
(有)宮三スズキ中条販売	5,000	㈱日本ステップ 八角亭	5,000	㈱のざわスタジオ	10,000
二チアス㈱中条事業所	5,000	(有)大矢酒店	5,000	(有)蘭亭	10,000
協精化学㈱	15,000	(有)鈴木鉄筋工業	3,000	荒惣㈱	10,000
山崎鉄工㈱中条事業所	20,000	㈱奥村石油	5,000		

## ■事業所（乙地区）

事業所名	募金額	事業所名	募金額	事業所名	募金額
㈱日立物流	10,000	キムラ自動車	5,000	川上工業㈱中条工場	10,000
(有)のまた	5,000	㈱ホンダプリモ村上 中条	5,000	㈱日京クリエイト	10,000
(有)大出日石	5,000	(有)桐生建設	5,000	㈱日立インダストリーズ	10,000
大日レンタカー	5,000	(有)菅原電機	5,000	㈱中条エンジニアリング	10,000
高橋建材	5,000	㈱菅原電気工事	5,000	鉄砲園	5,000
米沢屋旅館	5,000	北産建設工業㈱	5,000	(有)カネシン中条工場	5,000
遠山石油	5,000	(有)齊藤商店	5,000	乙主食販売企業組合	5,000
農事組合法人本田農場	10,000	ケンコーライフスタイル㈱	10,000	(有)ほんだ建築	5,000
新村養豚場	10,000	吉川運輸㈱中条営業所	2,000	室本自動車整備	5,000
(有)エッグセンターきのと	10,000	新潟テクノス㈱	10,000	本間コンクリート㈱	10,000
日本海乙コーポレーション	5,000	高橋自動車整備工事	5,000	(有)中条鋼業所	5,000
かつらや旅館	5,000	中条総合清掃㈱	20,000		
(有)きのと物産	5,000	光輪ボデーサービス	5,000		
㈱阿部建設	5,000	大根田電機㈱	10,000		

## ■事業所（築地地区）

事業所名	募金額	事業所名	募金額	事業所名	募金額
福田石材㈲ 笹口浜工場	20,000	東亜工業㈱中条事業所	10,000	森田商会	5,000
ヤマエイ設備㈱	20,000	桂川電機㈱中条工場	30,000	(有)魚新潟屋	5,000
(有)阿賀北ファーム	5,000	加藤木工所中条工場	10,000	植木屋	10,000
(有)青柳自動車	5,000	(有)巧建設	5,000	農組 大沼愛鷄園	10,000
新潟石材市場㈱	5,000	(有)牧野工務店	5,000	ラーメンショップ中村浜店	5,000
(有)桜ファーム	5,000	(有)築地自動車修理工場	5,000	(有)加藤興業	10,000
(有)みやけ食品養鶏事業部	5,000	(有)大直	10,000	㈱ナカショク中条農場	10,000
(有)稻友ソーディング	3,000	(有)大和建装	5,000	ニイガタオーレス㈱	10,000
加藤商事㈱	5,000	ハセガワ工業	1,000	(有)中村浜エッグセンター	10,000
(有)塙縫製	5,000	(有)新栄石油	5,000	㈱アデランス生産本部	50,000
(有)博栄モータース	5,000	久保田車体整備	5,000	松田碎石(有)	10,000
十和自動車㈱	5,000	(有)小松自動車	5,000		

## ■その他（団体・個人）

事業所名	募金額	事業所名	募金額	事業所名	募金額
中条町議会議員	300,000	羽田野工務店	10,000	㈱大林組北陸支店	20,000
中条町教育委員	20,000	佐藤ハルエ	1,000	旭ビル管理㈱	50,000
金融機関	50,000	東京中条会員	225,000	㈱加賀田組下越営業所	5,000
J A 中条町	100,000	小泉清海	5,000	㈱信越測量設計	50,000
五社会	200,000	羽田野晃	10,000	日本舗道㈱新潟支店	20,000
新潟県労働金庫中条支店	10,000	中条町管工事業協同組合	110,000	富士総業㈱	5,000
中条町建設業協会	540,000	中条町畠組合	21,000	新潟オーヤラックス販売㈱	10,000
新発田ガス㈱	50,000	中条町造園建設業協会	70,000	北栄建設㈱	50,000
新潟中条郷会	50,000	中条町山砂組合	80,000	㈱ナカノアイシステム	50,000
日本海カントリークラブ㈱	20,000	中条地区仏教連合会	30,000	㈱日本海設計事務所	10,000
ミサワカーディナルゴルフクラブ	20,000	中条町洋服組合	12,000	㈱サンワコン新潟支店	50,000
中条町医師会	130,000	中条町商工会	50,000	本間道路㈱	50,000
中条町歯科医師会	130,000	理容生活衛生同業組合	10,000	丸運建設㈱下越支店	20,000
中条町農業委員	105,000	中条地区美容組合	10,000	㈱水倉組新発田営業所	20,000
中条町課長・係長会	230,000	新発田北浦砂利協同組合	50,000	㈱本間組	20,000
中条町特別職	110,000	朝日舗道㈱	20,000	東亞道路工業㈱下越営業所	20,000
境川村	100,000	㈱日立製作所新潟支店	50,000	㈱シーベルコンサルタント	10,000
文化財審議委員	40,000	㈱千代田コンサルタント新潟営業所	20,000	福田道路㈱村上営業所	20,000
佐藤悌吉	10,000	㈱新研基礎コンサルタント	5,000	第一建設㈱村上営業所	10,000
会田善八郎	10,000	昱工業㈱下越営業所	20,000	新潟綜合警備保障㈱村上支社	20,000
諸橋喜一郎	10,000	㈱聖測コンサルタント	20,000	(有)五十嵐薬品	30,000
松本和夫	10,500	㈱環境設計研究室	50,000	㈱ぎょうせい	10,000
J A 職員	64,000	長島鑄物㈱	10,000	中条ゴルフ俱楽部㈱	20,000
松木精作	5,000	オリジナル設計㈱新潟事務所	50,000		

# 鎌倉幕府相手に挙兵800年

13・14日 中条町が記念イベント

鎌倉時代の勇女、板額御前が鎌倉幕府を相手に兵を起し、今年が800年に当たることが、生誕地・中条町は記念イベントを13・14日に計画している。

【小暮靖男】

町内の白鳥山にかけ、板額御前が鎌倉幕府を相手に兵を起して、今年が800年に当たることから、生誕地・中条町は記念イベントを13・14日に計画している。

陣頭に立った。しかし、捕らえられ、後に甲斐(現在の山梨県)の浅利義遠の妻となつた。

9月1日には、板額御前の半生を描いたビデオ「板額物語」が、町内の白鳥公園で収録され、手作りのよいやかっちゃんを着た中学生や一般町民ら約150人が出演した。

初日の13日は、町産業

文化会館で午後1時半から、作家の杉本苑子さんによる「板額御前と鎌倉時代」の基調講演がある。

引き続き「板額御前はどう生きたか、その人間像に迫る」をテーマに、パネルディスカッションが開かれれる。

14日は、生誕の地、同町飯角に建てられた記念碑の除幕式があり、引き続き、JR中条駅前から町役場前にある板額御前銅像まで、約300人の武者行列が計画されている。

産業文化会館では、各種団体や個人による踊り、歌やビデオ上映などもある。



奮戦のエキストラとして出演した地元の役者たち

読売新聞  
平成13年10月25日



約300人の町民らが参加した武者行列

◆中条◆ 『この名手として知られ、鎌倉幕府軍を相手に戦った勇猛異色な女武300人が武者行列

者・板額御前(ほんがくぜん)の奮戦800年を記念したイベントがこのほど開かれた。

長谷川凡子さんは「大

勢力をかけてくれてうれしい。楽しく行進できた」と話していた。

▶毎日新聞 平成13年9月2日



# 御前が今、よみがえる — 平成13年(西暦2001)

10月14日(日)



板額御前之像（原型）

10月13日(土)



—会場—  
中条町産業文化会館

## 板額御前奮戦八〇〇年記念イベント

### 総合開会式

午後一・二〇〇～

★板額姫慕情（山梨県境川村友情出演）

★境川小唄（山梨県境川村友情出演）

★旅姿恋太郎（山梨県境川村友情出演）

★板額太鼓（板額太鼓保存会）

### ■シンポジウム

午後一・三〇〇～

平安時代後期から鎌倉時代前期にかけての、波乱に満ちた時代に生まれ育ち、果敢に生きた板額御前の半生を、その「時代背景」を中心に作家の杉本先生から、つづいて、それぞれの専門家の皆さんからは、「板額御前はどう生きたか、その人間像に迫る」「パネリスト」として語らうとしている。ロマンと臨場感あふれる語らいにご期待下さい。そして、シンポジウムが今後の中条町の文化振興、地域活性化に向けて示唆に富んだものになることを確信しております。

## Program

★基調講演



作家 杉本苑子 氏  
『板額御前と鎌倉時代』

〔略歴〕

一九六三年「孤愁の岸」で第四八回直木賞。一九八七年紫綬褒章、一九九五年には文化功労者に認定される。現在、日本文芸家協会評議員、日本女流文学者会会長ほか。一九二五年生まれ。

### ■パネルディスカッション

『板額御前はどう生きたか、その人間像に迫る』

コーディネーター



篠田昭氏（新潟日報社論説委員・編集委員）

パネリスト



角田義一氏（山梨県境川村長）



小林昌二氏（新潟大学教授・文学博士・日本史）



高橋郁子氏（新潟県民俗学会常任理事）



熊倉信夫氏（中条町長）

## シンポジウム

# 建仁元年(西暦1201) — 800年の時を超える板額

午前の部

## ■板額御前生誕の地

記念碑除幕式 午前九〇〇〇

場所 飯角地内

## ■板額御前武者行列 午前一〇〇三〇

中条駅前 → 中条町産業文化会館 (到着午前一一三〇)

## ■板額御前銅像除幕式 午前一一四〇

場所 中条町役場庁舎前

午後の部

会場 中条町産業文化会館

## ■各種団体及び

### 個人の発表会 午後一〇〇

### ■浪曲「女人菩薩」 午後一・二五

浪曲師 松平洋子氏

## ■ビデオ上映

### 「板額御前物語」

午後三・一五

## ■セレモニー

八〇〇年の時を超えて甲斐源氏浅利氏と板額御前の婚姻を中条町長と境川村長が認証

総合閉会式

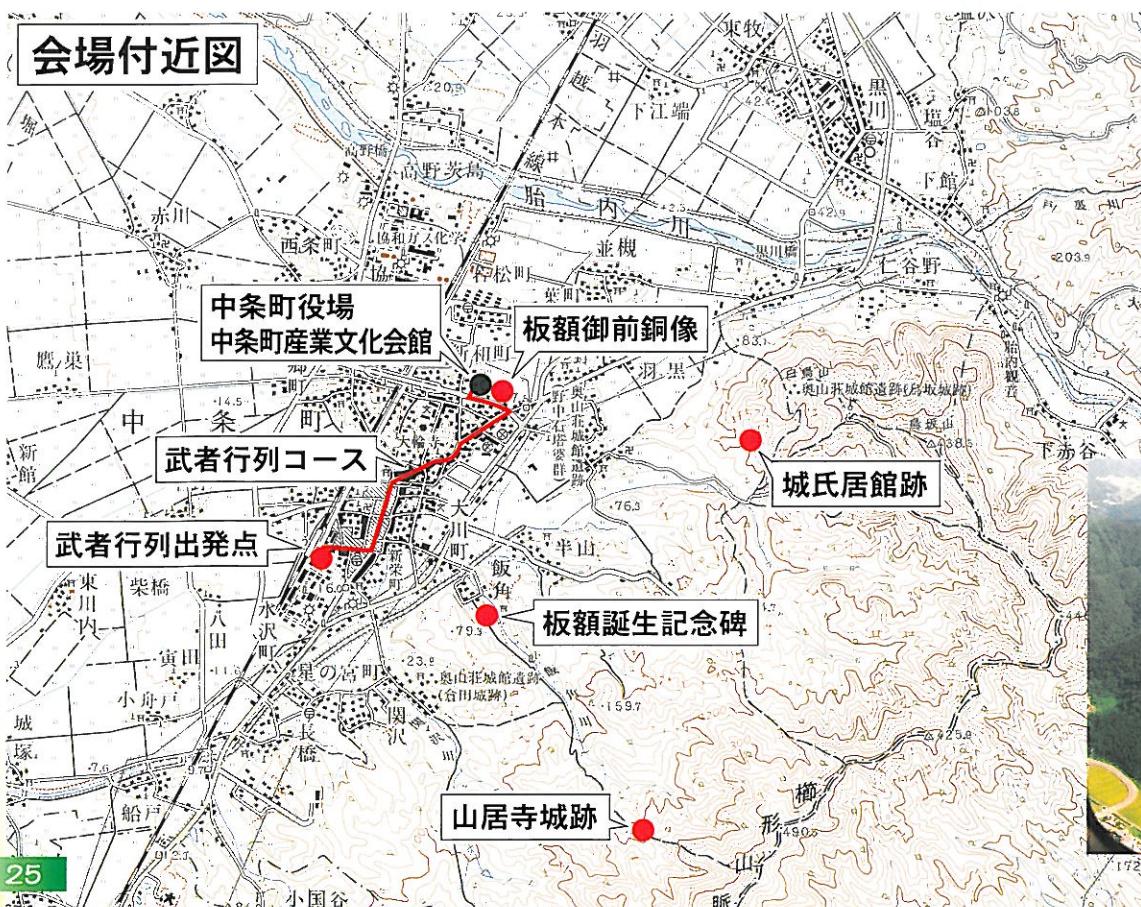
☆板額太鼓 (板額太鼓保存会)

午後三・三五

●ビデオ映画『板額御前物語』板額御前の歴史を誕生から映像や資料を使って分かりやすく描いた作品。実行委員会演劇部会で制作した自信作です。

●浪曲『女人菩薩』板額御前の華々しい奮戦の様子から鎌倉での源頼家との対面、さらに甲斐源氏の武将浅利与一義成公の妻となるまでをリアルに語る浪曲の名作この春NHKラジオでも放送されました。

会場付近図



高橋沙織氏  
長谷川凡子氏



▲空から見た鳥坂城跡(手前 鳥坂山)と櫛形山脈

板額御前の生涯(要約)

板額御前、正式な名は不明だが、一般的には板額御前と呼び親しまれてい  
る。誕生の地中条町に飯角の地名が残  
されている事からして、飯角(いいづみ)  
御前と呼ぶのが正しいのではないかと  
の説もある。今風に云えば、姓は城で  
名は板額と云うことになる。

板額の年齢は、文献等から建仁元年（一一〇一年）鳥坂城落城の推定年齢は三十歳前後とされているので、ここでもその説に従つて生い立ちを整理してみたい。

板額御前は、平安時代も終わりに近い、承安二年（一一七一年）越後国奥山莊飯角（現中条町飯角）の山居寺城にて越後国名門豪族の城資国の娘として

孫娘と伝えられている。（系図参照）  
板額（飯角）姫は幼い頃から学問・武術に優れた才能を發揮し、領地管理のために留守がちの父や、兄たちに代わって、長兄資長（すけなが）の長男、城小太郎資盛の教育にあたるなど、資盛の後見人として鳥坂城の運営に努めたので、若くして御前と呼ばれるようになった。

玉に対する功績なども手伝って和田宗

この頃板額御前二十歳、すでに立派な女武将に成長しており、城氏祖先の

(建久二年)和田宗実が赴任。

つた長茂は会津(坂下町)へ隠棲、やがて壇ノ浦で平家滅亡、鎌倉に幕府を起した源頼朝は全國に守護・地頭を派遣し、奥山荘(中条)にも西暦一九一

も陰りが見えはじめ城一族も源平争乱の渦に巻き込まれて行く。

実も城氏には簡単に手を付けられなかつた。

武貞・藤原經清の妻（清衡の母）を知

清原令望 —— 清原武則 —— 清原武衡 —— 女(城資国に嫁ぐ)

資國の妻（板額の母）は清原武衡の孫娘

越後平氏  
城氏系図

『城氏の系図は十中八九信頼性に欠ける、と云われているが参考までに』

じいばが西暦一一〇一(建仁元年)正月、兄長茂が源頼家打倒の謀反を起し失敗、京の吉野山で打ちれてしまった事件が発生、このことが原因で城氏の

ので奥山莊は安泰 小太郎資盛も板額  
御前とともに運して成長し、平和な日々  
を過ぎていていた。

実も城氏には簡単に手を付けられなかつた。

拠点、越後奥山莊は幕府軍の討伐を受けることになった。

武貞・藤原經清の妻（清衡の母）を知

清原令望——清原武則——清原武衡

資国の妻（板額の母）は清原武衡の孫娘

```

graph TD
    貞成 --- 雅家
    雅家 --- 長基
    雅家 --- 永家
    長基 --- 繁賴
    長基 --- 永繁
    永家 --- 宮禪師
    永家 --- 資國
    資國 --- 家成
    資國 --- 繁賴
    資長 --- 資盛
    資長 --- 資家
    資盛 --- 小太郎[小太郎  
（鳥坂城）]
    資盛 --- 二郎入道[二郎入道  
（菅名）]
    資家 --- 板額
    資家 --- 資綱
    資綱 --- 三郎[三郎  
（加茂）]
    資綱 --- 病死[病死]
  
```

驚愕させたと、吾妻鏡も伝えてくる。  
板額御前の名声はたちまち全国にせ  
まり、源頼家も一日見たいと鎌倉へ  
行を命じ、六月、鎌倉で二代将軍源頼

いと云ふ。  
この戦いで板額御前の奮戦は自覚す  
しく、女ながら剛弓の腕前は敵味方を

拠点、越後奥山莊は幕府軍の討伐を受けることになった。

後妻に娶る

家と対面した話は有名。

この時、甲斐国（山梨県）の武将浅利与一義成が板額御前を妻に貰いたいと頼家に申し出た。

ついに頼家はこれを許し、板額御前

は浅利与一義成の妻として浅利氏の本拠地、甲斐国豊富村に赴いた。この時、浅利氏五歳、板額御前三十歳。

この頃、浅利氏は秋田県比内郡（現・北秋田郡・大館市・比内町一帯）の地頭となり板額も浅利氏と共に秋田を訪れていると云う説もある。

浅利氏はその後、嫡子知義以降五代にわたって比内郡を統治したと伝えられ、浅利氏の菩提寺などが現存している。

山梨県の境川村は浅利氏と板額の間に生まれた娘が嫁いだ石橋家のあつた地で、ここでは板額御前を板額姫と呼んでいる。

（文・五十嵐 力）



板額御前生誕の地「中条」

## 越後城氏にまつわる年表

西暦	和暦	主な出来事
九四〇	天慶3年	平将門の（天慶の乱）で平貞盛功績をあげる
九八八	永延2年	平重範 会津に攻め入り坂下に八館を築く
一〇五〇	承安2年	平繁成 出羽城介に 城氏の開祖力
一一七	長承2年	城長基 源義親事件で文献に
一一三三	久安2年	奥山莊初見
一一七二	承安2年	城資国三条五十嵐に城を築く「異本塔寺長
一一七一	承安2年	城長茂 会津恵日寺乗丹坊に小川庄（現・東蒲原郡）を寄進。明治初期まで福島県となる。
一一七六	承安2年	板額御前奥山莊飯角山居寺城（中条）で誕生
一一八一	承安2年	父・城資国 母は清原武衡（出羽）の孫娘
一一七六	承安2年	乙宝寺と資長の記述「県資料7」
一一七一	承安2年	城長茂・長野横田河原で木曾軍に敗れる
一一七二	承安2年	城長茂 越後守平助職「玉葉」
一一七一	承安2年	長茂小川庄赤谷に隠棲「吾妻鏡」
一一七二	承安2年	会津坂下との説もあり（坂下に史跡あり）
一一七三	承安2年	平氏壇ノ浦で滅亡
（これより1598年までを中世と呼ぶ）		
一一八八	文治4年	長茂 許されて源氏の御家人に「吾妻鏡」
一一九二	建久3年	長茂の先祖（平貞盛か）の功績の記述あり
一一九九	正治元年	城長茂 奥州合戦に参戦
一一〇〇	正治2年	佐々木盛綱 加治庄地頭に
一一〇一	建仁元年	奥山莊地頭に和田宗実
一一〇一	建仁元年	源頼朝没
一一〇〇	正治2年	梶原景時暗殺される
一一〇〇	建仁元年	正月 長茂謀反失敗 吉野山で討たれる
一一〇〇	建仁元年	五月十四日 鳥坂城を討伐 城氏滅亡「吾妻鏡」
一一〇一	正治2年	六月 板額鎌倉へ連行され源頼家と対面
一一〇一	建仁元年	六月 浅利与一義成の妻となり甲斐国へ

（関連資料）

浅利与一義成が秋田比内郡を受領したのは板額を娶った前後と思われる「比内町史」。浅利氏の名が吾妻鏡に登場するのは文治5年6月9日の条を初見として嘉禄2年（1226）5月16日の条まで都合11回に及ぶ。時期としては約37年間にわたっている。「比内町史」

悲運から逃げ出さずに、まっすぐに  
生きた板額御前を見習いたい。

新潟県民族学会常任理事 高橋郁子



イラスト画：高橋郁子氏（ペンネーム・高橋郁丸）

発行／板額御前奮戦八〇〇年記念イベント実行委員会

事務局：中条町役場総務課企画調整係 TEL(0254)43-6111 内線 328